

ミニドラマ「めいど in あきはばら」に反映された

日本のメイドカフェの状況

ニケ，チェンドラ

0442023

マラナタ教大学
文学部
日本大学日本大科
バンドン
2009

序論

二十世紀に入って秋葉原地区は電気街として有名になってきている。そして、二十世紀に電気機関街からお宅やコスプレーヤ街に変わったのである。その証拠の一つに秋葉原に多くのカフェの一業が現われてきたのである。それらのカフェはウェイトレスにコスプレを着るように義務付けている。そのため、コスプレカフェという言葉が流行ってきている。また、2003年に、このお宅が集まるところに、コスプレカフェと同種のもの、メイドカフェが現われてきたのである。

メイドカフェは他のレストランや喫茶店と同じようなものであるが、ウェイトレスが英国のメイドのような服装をし、客にはして下女のようにサービスを施すのである。メイドカフェは持ち主の創造かにより作られているため、ほかのカフェと比べ、ユニークな形状を提している。ウェイトレスがメイドの服装をしているほか、店内のインテリアを派手なものにし、またそこにはさまざまなポスターやアニメキャラクターの人間が飾られている。出現して以来、この商業は、利益をもたらすものになっている。そのため、メイドカフェが東京をはじめ、日本の大都市にぞくぞく現われてきている。メイドカフェに来る客のほとんどは、変質で珍装をしたお宅という部類の人間である。しかし、女男を問わず、最近では、十八才から五十才の客も現われてきているのである。

「めいど in あきはばら」は、秋葉原にあるメイドカフェの状況を描いているミニドラマである。本論では、メイドカフェがいかなる社会的役割りを果し、また社会にはしていかなる貢献をしているか分析するもなのである。

本論

「めいど in あきはばら」の映画では一人の云キャバキャラのサキという人物が秋葉原の「メイドのみやげ」というメイドカフェで働くことを推められたという話から始まる。メイドカフェを初めて知ったサキはメイドカフェにはしてさまざま精神的葛藤を抱いている。私は、このサキの精神的葛藤を通じて、日本のメイドカフェについて分析するのである。

第一章は普通のカフェと異なったメイドカフェについて述べる。そのメイドカフェの雰囲気を見てサキはカフェではないと感じ、これに対してマイナスな考えを持つようになる。しかし、実際メイドカフェはカフェ一種に入るのである。店内がレースはきの布や派手な装飾により飾られ、ウェイトレスがメイド風の服装をしているが、カフェであることに変わりはないのである。店内をそのようにしたのは、秋葉原周辺の住民を魅了するためである。ウェイトレスは、メイド如きの態度をとり、客をご主人様のようにもてなすのである。

一般的ではないメイドカフェのサービスについて述べる。先も述べたように、ウェイトレスは、メイド風の服装をし、アニメの出演キャラクターのように振舞い、尊敬語を使うのである。例えば、

“お帰りなさいませ、ご主人様”

(Episode 1; 00:07:37)

“お待たせいたしました、萌えオムです。”

(Episode 1; 00:08:46)

このようなもてなし方は、愛情を求める客たちを喜ばせるのである。このようなもてなし云はキャバクラでのもてなし方とは異なっているのである。

次の章はメイドカフェのウェイトレスの大会を述べる。「メイドのみやげ」に来る客の要求によりウェイトレス大会が行われることになる。客たち、特にお宅たちは、大会を通して、何かをアイドル化することができるからである。お宅たちは、自分の好きなことをするためには自分のポケットからお金を出すことも厭わないのである。

最後の章はメイドカフェを守るための経営者従業員たちそして、客たちの努力を述べる。「メイドのみやげ」がやくざによって潰されようとしているのである。客、特にお宅は、自分たちもメイドカフェの一員であると思い、カフェを守ろうとしているのである。メイドカフェは、存在感を失った彼らにとって、受け入れてくれる場所である。その人たちの頑な努力を見て、やくざたちも、それを潰すことをあきらめたのである。

結論

メイドカフェについて分析を試みた結果、次の結論を引き出すことができる。

- 一. 普通のカフェと異なっているが、メイドカフェは決して悪いイメージのものではない。
- 二. 娯楽施設的一种として、メイドカフェは社会に対してプラスな状況を提している。
- 三. メイドカフェは、存在感を失った人たちを暖く返えてくれる場所である。

Daftar Isi

	Halaman
Kata Pengantar	i
Daftar Isi	iv

BAB I PENDAHULUAN

1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Pembatasan Masalah	4
1.3 Tujuan Penelitian	4
1.4 Metode penelitian.....	5
1.5 Organisasi Penelitian	8

BAB II MAID CAFÉ DI JEPANG

2.1 Definisi <i>Maid Café</i>	10
2.2 Awal Munculnya <i>Maid Café</i> Di <i>Akihabara</i> Dan Perkembangannya.....	14
2.3 Ciri Khas <i>Maid Café</i>	17
2.3.1 Seragam Para <i>Waitress Maid Café</i>	18
2.3.2 Interior Ruangan <i>Maid Café</i>	19
2.3.3 Para Pengunjung <i>Maid Café</i>	20
2.4 <i>Service</i> Pada <i>Maid Café</i>	22
2.5 Makanan Dan Minuman Pada <i>Maid Café</i>	24
2.6 <i>Event</i> Pada <i>Maid Café</i>	26

BAB III ANALISIS “MEIDO IN AKIHABARA”

3.1 Konflik Saki Pada Awal Bekerja Sebagai Pelayan <i>Maid Café</i>	27
3.1.1 <i>Maid Café</i> Yang Berbeda Dengan <i>Café-Café</i> Pada Umumnya	27
3.1.2 Para Tamu <i>Otaku</i> Di <i>Maid Café</i>	31
3.2 Pelayanan Para <i>Maid</i> Yang Menghibur Para Tamu.....	36
3.3 Kompetisi Antar Para <i>Waitress Maid Café</i>	41
3.4 Usaha Mempertahankan <i>Maid Café</i> Di <i>Akihabara</i>	45

BAB IV KESIMPULAN	51
--------------------------------	----

DAFTAR PUSTAKA	vi
----------------------	----

LAMPIRAN.....	viii
---------------	------

SINOPSIS	xv
----------------	----

RIWAYAT HIDUP PENULIS	
-----------------------	--